

JACR委員会報告

[学術委員会からの報告]

田中 英夫 理事長／学術委員長

愛知県がんセンター研究所 疫学・予防部



学術委員会は、現在、副理事長の西野善一先生、理事の安田誠史先生、専門委員の祖父江友孝先生、片野田耕太先生、伊藤ゆり先生と私田中の計6名で活動しています。この学術委員会の活動目的は、2011年に発刊された本誌No.29の「学術委員会の目指すもの」に記された目的(<http://www.jacr.info/publication.html>)と変わりありません。年間を通じての活動概要として、学術集会での優秀ポスター賞受賞者の選定とシンポジウムの司会進行(6月)、同シンポジウムのJACRモノグラフ用原稿の編集(8月)、藤本伊三郎賞受賞者の選考(9月)、次年度の学術委員会企画シンポジウムの企画(12月)、次年度の学術奨励賞受賞者の選考(2月)などを行います。また、本誌に掲載されています、論文紹介:「ヘリコクターピロリ菌の出生年別陽性割合の特徴」記事のような、日本のがん記述疫学研究や、がん罹患率の推移を読み解くために有用となる日本発の論文について、本誌でわかりやすく著者に解説していただけるよう、これをニュースレター編集委員に推薦し、調整しています。

ところで、アジア広しと言えども、人口規模が1千万人以上の国で、30年以上もの長期間のがん罹患率トレンドの推計値が適正に算出できる国は、日本以外にありません。先達の積み上げた「登録遺産」を一層有効活用し、日本発の成果を発信できる人材が1人でも増えるよう、学術委員会活動を発展させたいと考えます。また、今年1月に「がん登録推進法」が施行となりましたことから、今後、市町村や都道府県が、がん登録資料を利活用して、自治体のがん対策の立案や評価に資する研究活動にこれまで以上に取り組むことが予想されます。このような需要に対して、研究計画立案の相談や、倫理面でのアドバイス、審査などのサービス事業を新たに立ち上げることも検討しています。正会員、賛助会員の皆様、これからの学術委員会活動に関し、ご意見お待ち申し上げます。

→ JACR刊行物・業績

<http://jacr.info/publication.html>



関 連 学 会 一 覧

2016(平成28年)

日程	学会名	開催場所
6月 2日(木)～ 3日(金)	地域がん登録全国協議会学術集会(第25回)	石川県 石川県女性センター
10月 6日(木)～ 8日(土)	日本癌学会学術総会(第75回)	神奈川県 パシフィコ横浜
10月19日(水)～ 21日(金)	国際がん登録協議会年次総会(IACR)	モロッコ マラケシュ
10月20日(木)～ 22日(土)	日本癌治療学会(第54回)	神奈川県 パシフィコ横浜
10月26日(水)～ 28日(金)	日本公衆衛生学会(第75回)	大阪府 グランフロント大阪